

インナー大会について

関東最大の学術発表会

インナー大会とは？

インナー大会は、他大学との交流を深める目的で1960年に設立され、「討論部門」と「プレゼンテーション部門」(以下「プレゼン部門」と呼称)の2部門で構成されています。現在は1,000人超の学生が参加する、関東最大の学術発表会として活動を続けています。



プレゼン部門について

「プレゼン部門」とは？

「プレゼン部門」とは日本学生経済ゼミナール関東部会主催、日経ビジネス協力によるプレゼンテーション形式の研究発表会です。この部門はインナー大会実行委員と日経ビジネス(日経BP社及び日経BPマーケティング社)が合意・協力して、2004年から立ち上げ、2018年度で第15回目となります。



討論部門

同じ分野の研究をしている、他大学ゼミとの討論によって深い交流ができます！

- 参加にあたり、チームごとにテーマ趣意文の作成・提出が必要となります。
- 7月1日(日)のテーマ設定会議にて、討論相手の組み合わせを行います。

※スケジュールなどの詳細はインナー大会HP (<http://inner-kanto.com/>)で確認してください。

昨年大会参加者の声

「いろいろな視野の考え方を知ることができた」

「他大学の学生の意見は新鮮なものであり、貴重な経験になった」

「違った意見をもった方と意見の交換・共有ができて充実しました」

「本番までの準備や論文作成など、今後のために役立った」

※討論部門の参加には「日経ビジネス」購読の必要はありません。



討論部門の様相

プレゼン部門

「日経ビジネス」編集長(予定)をはじめ、第一線で活躍されているビジネスパーソンや大学教員の方々があなたのプレゼンを審査・講評します！

- 参加にあたり「日経ビジネス」の半年、または1年の購読申し込みが必要となります。※詳しくは右ページをご覧ください。
- 6月3日(日)に、大会説明会を行います。質問も受け付けますので、疑問点はここで解消してください。

昨年大会参加者の声

最終ページにて紹介しています。ぜひご覧ください。

2017年プレゼン部門の様相



2017年プレゼン部門の様相

11月18日(日)
同時開催

実行委員長からのメッセージ

第58回 インナー大会実行委員会 委員長 松井 泉

皆様、はじめまして。第58回インナー大会実行委員長を務めさせていただきます。中央大学の松井 泉です。今年度でインナー大会は58回目を迎えることとなりました。これをご参加くださいます皆様のおかげでございます。心より感謝を申し上げます。また、私自身このような大きな大会に携われることを大変光栄に思っております。今年度の大会コンセプトは「知の伸展」です。

参加者の皆様には、この大会を通じて他大学や社会人の様々な考えに触れることで、知見・知識の幅を広げていただきたいと思います。このコンセプトを設定させていただきました。私達実行委員会は、皆様の努力と成果を十二分に発揮できる舞台と、それを楽しんでもいただける最適な環境をご用意いたします。今年度も実行委員会一同、皆様にご満足いただけるよう一生懸命に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



プレゼン部門の特長

社会人による審査&フィードバック！

学生だけの大会では協力を得ることが難しい、ビジネスパーソンや大学教員が審査員を務めます。本選へと進んだチームは、「日経ビジネス」編集長(予定)をはじめとした社会経験豊富な審査員より、その場で審査・質疑応答を受け、講評が受けられます。また、審査員からの講評を全参加チームに対してフィードバックいたします。

大会結果を「日経ビジネス」本誌とWebサイトに掲載！

上位入賞チームの個人名、写真などが「日経ビジネス」の誌面上に掲載されます。また、大会の発表結果等を、247万人ものビジネスパーソンが会員登録している「日経ビジネスオンライン」の特設ページにリンク掲載されます。

仲間との絆が深まる！他大学の学生とつながる！

ゼミの仲間と共に、1つの目標に向かって取り組むことの大切さや難しさがあなたの成長を促します。また普段触れることのない他大学の研究発表を聴講することで、自身の視野を広げることができます。



※掲載はいずれも予定です。

プレゼン部門に参加して
チームワーク・情報活用力を身につけよう！

参加費用

※参加者(大学生)1名あたりの費用

インナー大会参加費 + 日経ビジネスの購読料をお支払いいただきます。

プレゼン部門に参加する全員が「日経ビジネス」の半年または1年の購読をしていただくことが必須条件となります。

日経ビジネス・半年購読を選択した場合

10,500円 (参加費1,500円+購読料9,000円)

日経ビジネス・1年購読を選択した場合

17,300円 (参加費1,500円+購読料15,800円)

振込期限までに必ず参加費用をお支払いください。お支払いいただく参加費は、大会の運営、通信費などに使わせていただきます。

※日経ビジネスの購読料は税込金額となります。

「日経ビジネス」が役立つ3つのポイント

①日々の講義、ゼミ、論文・レポートに役立つ！

流通、金融、IT、サービス、メーカーなど、あらゆる業界・業種の「ビジネスの今」がわかる「日経ビジネス」。誌面には、ゼミや講義で学ぶ理論の裏付けとなる情報や、論文・プレゼンのテーマ設定をする際のヒントが満載です。

②就職活動の業界・企業研究に役立つ！

就活本やインターネットでは掴めない、企業の実像や社会の動きがわかります。多くの企業人事担当者も読んで「日経ビジネス」を早めに購読することで、確かな情報力が身に付きます。

③社会に出てから仕事に必ず役立つ！

「日経ビジネス」の購読者数は、26年連続で主要ビジネス誌の中でNo.1*。多くのビジネスパーソンが購読している信頼度の高い情報誌です。学生時代から積み重ねた知識や経験は、社会に出てからも役に立ちます。

※2016年度日本ABC協会認証部数190,918部(ビジネス分野1位)

